

8 室内楽コース

教育目標 さまざまなアンサンブル形態に応じ、幅広いレパートリーを学ぶことを通し、室内楽奏者として必要なアンサンブル能力を養成する。

募集人数 若干名

カリキュラム表

	授 業 科 目	履修費 ランク	単位				コース 最低修得 単位数	備 考
			第1	第2	第3	第4		
コース必修	専門研究	管弦楽	B	2			8(0)	弦必修、管打は選抜者のみ
		管弦楽	B		2			
		管弦楽	B			2		
		管弦楽	B			2		
	専門講義	室内楽史A	C	2			4	
		室内楽史B	C	2				
	特別研究	室内楽	A	4			16	
		室内楽	A		4			
		室内楽	A			4		
		室内楽	A			4		
実技	弦管打実技A	B	1			4(0)	本学弦管打楽器専修卒業生は選択	
	弦管打実技A	B		1				
	弦管打実技A	B			1			
	弦管打実技A	B			1			
その他	管弦楽法B	B	1			2		
	管弦楽法B	B		1				
コース推奨	専門研究	管弦楽特別演習	B	2			履修を許可された者のみ履修可	
		管弦楽特別演習	B		2			
		管弦楽特別演習	B			2		
		管弦楽特別演習	B			2		
	吹奏楽	吹奏楽	B	2			管打、コントラバス、ハープ履修可	
		吹奏楽	B		2			
		吹奏楽	B			2		
		吹奏楽	B			2		
	その他	室内楽作品研究A	B	2			弦のみ履修可	
		室内楽作品研究B	B	2				
		管楽器作品研究	B	2				
		弦楽器作品研究	B	2				
		アンサンブル	B	2				
		アンサンブル	B		2			
アンサンブル		B			2			
アンサンブル		B			2			
オーケストラ・スタディ		B	2					
オーケストラ・スタディ		B		2				
オーケストラ・スタディ	B			2				
オーケストラ・スタディ	B			2				

修了認定基準 コース必修科目の単位修得、「室内楽協」の評価A以上

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願にあたっては、3～8人程度のグループを編成して応募すること。弦楽器は弦楽四重奏、木管楽器は木管五重奏、金管楽器は金管五重奏、

出願期間 平成22年10月12日(火)～10月15日(金)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)・受験票(B)
2. 写真2枚 3×3cm
3. 卒業(見込)証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出 願 料 10,000円

試験科目 室内楽演奏試験

又は

課題曲

弦楽器は、下記の4曲の弦楽四重奏曲から任意の1曲を演奏する。

・Haydn: 弦楽四重奏曲 八長調 作品76-3より 第1、4楽章

・Haydn: 弦楽四重奏曲 二長調 作品76-5より 第1、2楽章

・Mozart: 弦楽四重奏曲 変ロ長調 K.458より 第1、3楽章

・Beethoven: 弦楽四重奏曲 ヘ長調 作品18-1より 第1、4楽章

管楽器は、自由曲

国立音楽大学4年在学中で、現在室内楽コースを履修している者は面接試験のみとする。

試験日 11月6日(土)～11月25日(木)の期間内

合格発表 12月3日(金)10:00 教務課掲示板。

ただし、卒業見込み者が卒業できなかった場合には、合格を取り消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項にしたがって決められた期日までに

(1) 誓約書、(2) 学生台帳、(3) 写真3枚を提出すること。

また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの履修説明会が開かれるので、必ず出席すること。